

ワガヤネヤガワちいきふくしプラン（第二次寝屋川市地域福祉計画）の成果と課題（2015/09/28版）

1. 生活を支援するサービスや活動の充実

計画項目	活動や事業の実施状況と成果（*：委員の取り組み）	今後の取り組み課題	第三次計画での検討事項	
(1) 生活のなかの困りごとを、多くの力で解決していくしくみの充実	①生活のさまざまな困りごとに対応する「コミュニティソーシャルワーク（よろず相談支援）」のしくみの充実 [1] ・コミュニティソーシャルワーカー（CSW）を7名（各コミセンエリア+スーパーバイザー）に増員し、まちかど福祉相談員（校区福祉委員）と連携したニーズ把握や、「個を支える援助」、「個を支える地域をつくる援助」を行っている	・地域の多様な福祉課題を解決するためのCSWの増員・スキルアップと、地域の資源を効果的につなぐしくみの強化 ・市（行政）としての地域と協働（支援）する体制づくり	・CSWと各分野の相談支援の連携によるコミュニティソーシャルワークの機能の充実	
(2) さまざまな困りごとに対応できるサービスや地域福祉活動の推進	①分野別計画に基づく保健福祉や子育て支援などのサービスの充実 [2] ・高齢者保健福祉計画、障害者長期計画・障害福祉計画、こどもプラン、食育推進計画のPDCIを通じて、各種事業を計画的に推進している	・各計画を協働により着実に推進するためのいっそうの連携や資源の拡充	・生活困窮者自立支援を活かした個々のニーズに寄り添う支援の推進	
	②地域福祉の視点にたった「市民にわかりやすいサービス体系」への再構築 [3]	・対象（分野）ごとに実施している同様のサービスなどの一体的な提供についての市民の利便性やわかりやすさの視点での検討	・各分野の連携による狭間のない支援や、生活関連サービスや地域福祉活動等と連携した多様な支援の推進	
	③ライフステージを通じた支援をすすめるための取り組みの推進 [4] ・健康づくりや食育の目標をライフステージで設定し、一貫性のある取り組みを推進している ・ライフステージを通じた障害者支援をすすめるツールとしてサポート手帳を推進している	・世代による関心の違いなどをふまえた対応	・福祉サービス事業者等と連携した、自立を支えるサービスとしての質の向上	
	④市民の「思い」と「力」を活かした支えあいの活動の推進 [5]	(5-(12)に記載)		
	⑤生活に関わるさまざまなサービスを活かした支援の推進 [6]			
	⑥保健福祉などのサービスと地域福祉活動の「協働」の推進 [7] ・市（保健福祉部）と社協の連携会議を定期的開催し、公・民の取り組みの連携や調整を推進している	・多様な主体の活動と公的なサービス等の連携を推進するしくみと、協働を支援する体制の強化		
	⑦保健福祉などのサービスや地域福祉活動の質をいっそう高める取り組みの推進 [8] ・福祉サービス事業者の監査や指導を実施するとともに、情報提供や研修等を通じて、サービスの向上を支援している ・地域福祉活動の担い手への研修も実施している	・事業所に適切な指導等を行う体制の確保 ・事業者・従業員のスキルアップ ・地域福祉活動の担い手のモチベーションを高めるための工夫		
(3) 難しい課題などに対応するセーフティネットのしくみづくり	①難しい課題に対応する「(仮称)セーフティネット委員会」のしくみづくり [9] ・生活困窮者自立支援事業は、庁内会議を通じて全庁的に取り組むとともに、関係機関の協力も得て推進している ・高齢分野の地域ネットワーク会議や地域ケア会議、障害分野の自立支援協議会等で、連携による支援を推進している	・関係部局や関係機関の情報共有による生活困窮者への相談支援体制の強化 ・制度の狭間にあるケースに連携して対応するための、具体的なシステムの構築 ・課題解決のための資源やネットワークの開発	・難しい課題に協働で取り組むしくみ（セーフティネット委員会）の設置	
(4) 安心して生活できる「住まい」への支援の推進	①地域生活を支援する住宅や居住型の施設の整備の推進 [10] ・高齢者・障害者世帯の住宅改修の助成や、住戸の安全性を高めるための支援を実施している ・居住型の施設の整備を推進するとともに、民間事業者によりケア付き住宅等が整備されている ・市営住宅のあり方を検討し、高齢者向け住宅等を含む整備を推進している ・住宅マスタープランとアクションプランを策定し、“安心して暮らせる住まいづくり”を推進している ・生活困窮者自立支援として、住宅確保への支援を行っている	・効果的な住宅改修や住宅確保への支援	・地域での生活の基盤となる“住まい”への支援の充実	
	②地域での居住を支援する事業などの充実 [11] ・障害者が賃貸住宅で生活するうえでの相談支援を実施している ・地域住民や施設が連携してひとり暮らし高齢者の見守りや緊急対応を行う緊急時安否確認（かぎ預かり）事業を実施している	・障害者が入居できる住宅の確保や保証人問題への対応 ・緊急時の対応を的確に行うための連携や、権利擁護を含めた取り組みの推進		
(5) 「暮らしと自立」をみんなで支えていく取り組みの推進	①市民一人ひとりが自らの暮らしを考える「ライフプラン」づくりの推進 [12]		・一人ひとりの主体的な取り組みを支援する取り組みの検討	
	②「暮らしと自立」に関するさまざまな生活課題を解決していく取り組みの推進 [13] ・生活保護受給世帯の自立を支援するため、就労、健康、子どもの健全育成等を行う体制を設置している ・生活困窮者の自立を支援するため、相談、住宅確保や就労準備への支援などを行っている	・貧困の連鎖を解消するための学習支援や家計管理支援等の実施	・生活困窮者自立支援の推進（再掲）	

2. 相談やニーズを把握する取り組みの充実

計画項目	活動や事業の実施状況と成果（*：委員の取り組み）	今後の取り組み課題	第三次計画での検討事項	
(6) 身近な相談の場とネットワークの充実	①保健福祉や子育て支援に関する総合的な相談支援のしくみづくり [14]	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の総合相談窓口である地域包括支援センターを中学校区ごとに設置し、地域に密着した相談支援を行っている 市の相談窓口でも関係機関等と連携した対応に努めている 	<ul style="list-style-type: none"> 困難事例の増加への対応 相談窓口のいっそうの周知 	<ul style="list-style-type: none"> 相談支援の充実ネットワークの強化による、身近に相談できるしくみの充実
	②市民の力とつながりによる身近な相談活動の推進 [15]	<ul style="list-style-type: none"> 校区福祉委員会が中心となって運営するまちかど福祉相談所が、出張相談等も含めた多様なかたちで広がっている * 民生委員、当事者団体、関係団体などが相談を受け、関係機関につなぐなどにより支援している 	<ul style="list-style-type: none"> 相談員の養成とCSWや相談機関との連携の強化 相談を気軽に受ける意識づくり 	
(7) 多様なつながりを活かした積極的なニーズ把握の推進	①積極的なニーズ把握の取り組みの充実 [16]	<ul style="list-style-type: none"> 計画づくりや事業実施と関連づけて、関係者の意見の集約やアンケート調査等でニーズを把握している * 当事者団体の活動や、地域でのサロン活動を通じたニーズ把握が行われている 	<ul style="list-style-type: none"> ニーズの共有と課題解決に向けた取り組みの推進 地域でのニーズ把握をすすめるうえでの公民の連携や個人情報の活用等の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の多様な主体と連携したニーズ把握や見守り・声かけ活動の充実 地域福祉推進の観点からの個人情報の保護と活用のあり方の検討
	②地域での見守り・声かけなどの活動によるニーズ把握のいっそうの推進 [17]	<ul style="list-style-type: none"> 小地域ネットワーク活動で、ひとり暮らし高齢者等への声かけ見守り活動を行っている * 民生委員の訪問活動や、老人クラブによる見守り活動等が行われている 	<ul style="list-style-type: none"> 地域を基盤とした（分野を横断した）見守りネットワークの形成 SOSを発信しやすい環境づくり 	
	③地域福祉をすすめるための個人情報の適切な管理と活用の推進 [18]	<ul style="list-style-type: none"> ひとり暮らし高齢者調査を、社協と民児協が共同で実施している 緊急時安否確認（かぎ預かり）事業の利用者リストは、同意を得て関係者で共有している 	<ul style="list-style-type: none"> ひとり暮らし高齢者調査での公民協働 	

3. 地域福祉についての情報伝達と理解の推進

計画項目	活動や事業の実施状況と成果（*：委員の取り組み）	今後の取り組み課題	第三次計画での検討事項	
(8) 情報をきめ細かく伝える取り組みの推進	①「広報ねやがわ」等を通じた情報発信のいっそうの充実 [19]	<ul style="list-style-type: none"> 広報ねやがわや機関紙、ホームページ等の各種メディアを通じた情報発信を行っている 広報特集号やサービスに関する手引きを発行している * 関係団体等でも、ホームページや機関紙等の多様なメディアを活用した情報提供が行われている 	<ul style="list-style-type: none"> 制度変更などに対応した継続的な情報発信 手引き等の市民への周知 一元的な情報発信の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 地域での生活や福祉に関する総合的な情報提供のしくみづくり 情報を必要な人に的確に“伝える”取り組みの充実
	②情報を的確に伝えるための取り組みの推進 [20]	<ul style="list-style-type: none"> 地域福祉に関わる活動や事業を行う団体・事業者への情報提供を行っている 	<ul style="list-style-type: none"> 双方向の情報提供 必要なときにアクセスできる工夫 	
(9) さまざまな場での福祉の学習と話しあいの推進	①学校や地域などでの福祉に関する学習や話しあいの機会の充実 [21]	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校の道徳や総合的な学習の時間で、地域の協力も得ながら体験的な福祉学習を行い、福祉への関心や理解を高めている 校区福祉委員会で住民懇談会を開催し、地域の福祉課題の話しあいを行っている 出前講座を通じて、地域等での学習を支援している 市の新任職員研修で、福祉教育を行っている 	<ul style="list-style-type: none"> 市民のニーズや多様な課題に対応した、幅広い福祉学習の推進 多くの市民の関心が高める取り組み 学校での福祉教育の充実（格差の解消） 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な福祉課題についての学習と、学習の成果の活動につなぐ取り組みの充実
	②心のバリアフリーをすすめる取り組みの推進 [22]	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校の福祉体験学習で、当事者団体と連携した取り組みを行っている 	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな機会を通じた取り組みの推進 	

4. 地域福祉をすすめるつながりづくりの推進

計画項目	活動や事業の実施状況と成果（*：委員の取り組み）	今後の取り組み課題	第三次計画での検討事項	
(10) 身近な地域でのつながりづくりの推進	①つながりとふれあいのある地域づくりの推進 [23]	<ul style="list-style-type: none"> 地域の各種団体が参加し、地域の状況に応じた身近な福祉のまちづくり活動をすすめる組織として、校区福祉委員会が設置されている 地域住民が協働して地域課題の解決に取り組む組織として、地域協働協議会が全校区で設置された * 孤立を防ぐためのさまざまな行事などが行われている 	<ul style="list-style-type: none"> 地域協働協議会の活動を活性化するための地域担当職員等による支援の充実 地域協働協議会と校区福祉委員会の役割の調整と連携の推進 自治会活動の活性化と参加意識づくり 新たなニーズに応じた活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 孤立する人がいない地域づくり 身近な地域での、日常的な支えあいの推進
	②支援が必要な人を見守り支える地域をつなぐりづくりの推進 [24]	<ul style="list-style-type: none"> 認知症の人が安心して暮らせるよう、理解を広げ、見守りや徘徊時の発見等を行う取り組みを推進している 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症の人が安心して暮らせる環境づくりと、認知症予防の取り組みの推進 	
	③人々がふれあえる場づくりの推進 [25]	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の活動の場としての高齢者福祉センターやいきいき教室、子育て中の親子の交流の場としての地域子育て支援センターやつどいの広場を設置している 校区福祉委員会が中心となった小地域ネットワーク活動でふれあいサロンや子育てサロンが開催されている * 自治会などでもサロン活動が行われている 	<ul style="list-style-type: none"> 地域と連携した拠点の運営 地域活動を担う人材の養成と、活動への支援の充実 参加できない人への支援 	
(11) 災害時などに的確に支えあえるネットワークづくり	①緊急時に的確に支えあえるしくみづくり [26]	<ul style="list-style-type: none"> 災害時の避難に支援が必要な人のリストを作成・更新するとともに、地図システムも構築した 福祉避難所の協定を高齢者・障害者施設と締結した 校区の自主防災協議会が、要援護者への支援も含めた避難訓練を実施している 安全・安心のまちづくりのための地域安全推進協議会をモデル地区で設置した 災害ボランティアセンターの設置運営マニュアルを策定し、備品の整備やスタッフの養成をすすめている 	<ul style="list-style-type: none"> 避難行動要支援者リストの的確な更新と、平時も含めた効果的な活用検討 地域の避難所や福祉避難所を的確に運営するためのマニュアル作成や準備の推進 地域協働協議会の役割の明確化による、地域の実情に応じた安全・安心のまちづくり 災害時にボランティアが的確に活動するための訓練や協議の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 災害時の支援体制と避難環境の充実 平時からのつながりづくりや支えあいの推進
	②緊急時の対応をすすめるための情報共有のしくみづくり [27]	<ul style="list-style-type: none"> 介護等が必要な高齢者・障害者等に救急医療情報キットや緊急時情報カードを配布している 緊急時安否確認（かぎ預かり）事業を、地域や施設と連携して実施している * 当事者団体で緊急時の連絡体制をつくっている 	<ul style="list-style-type: none"> 情報伝達ツールの普及と活用 生活関連事業者等とも連携した見守りネットワークの充実 	

5. 地域福祉の担い手づくりの推進

計画項目	活動や事業の実施状況と成果（*：委員の取り組み）	今後の取り組み課題	第三次計画での検討事項	
(12) 多様な地域福祉活動の場づくりと参加の呼びかけの推進	①多様なニーズに応じた活動づくりの推進 [28]	<ul style="list-style-type: none"> 保健福祉に関する各種事業における地域との協働や市民参加を推進している ボランティアと地域や福祉施設をつなぐボランティア活動見本市を開催した * 地域の状況に応じた買い物支援の活動が行われている * 福祉施設等でボランティアを受け入れている 	<ul style="list-style-type: none"> 新たなニーズに対応する担い手の養成 担い手の拡大による負担の分散 事業や活動と担い手をつなぐコーディネート機能の強化 	<ul style="list-style-type: none"> 新たな活動の立ち上げ等への支援の充実 多様な有償活動やC B・S B等の推進
	②有償による支えあい活動の推進 [29]	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援の有償活動で、ファミリー・サポート・センターや子育て応援リーダーズバンクを設置している 有償福祉活動を推進するしくみとして、高齢者サポートセンターが設置されている 	<ul style="list-style-type: none"> 有償活動への理解と、利用・支援の担い手の拡大 介護予防・日常生活支援と関連づけた取り組みの推進 	
	③専門家によるボランティア活動の推進 [30]	<ul style="list-style-type: none"> 経験や技能を活かして生涯学習ボランティアを行う、まちのせんせいバンクを設置している 大工仕事やおもちゃの修理などをボランティアで行うグループが設置されている 	<ul style="list-style-type: none"> 専門性を活かした活動の効果的な活用 	
	④幅広い層の人たちへの効果的な呼びかけの推進 [31]	<ul style="list-style-type: none"> 福祉への理解や関心を高める講座を開催している 老人クラブの活動を活性化するよう、補助金交付による支援を行っている 	<ul style="list-style-type: none"> 地域で活動する若い担い手の確保 	
	⑤担い手を増やしていくための学習機会の充実 [32]	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援や障害者支援のボランティア活動の担い手を養成する講習会等を開催している ボランティア活動への入門や活動内容に応じた各種ボランティア講座を開催している 	<ul style="list-style-type: none"> ボランティアの高齢化に対応する新たな層の担い手の養成（学校や企業との連携） 活動の担い手のスキルアップ 	
	⑥担い手のネットワークの充実 [33]	<ul style="list-style-type: none"> ボランティアグループ連絡会が設置されている 社会福祉法人が連携して地域福祉を推進する組織として、地域貢献委員会が設置された 		
(13) 福祉の仕事に就く人を増やすための取り組みの推進 [34]	<ul style="list-style-type: none"> 市・社協で養成施設等からの実習を受け入れている 保育士バンクを設置し、潜在保育士の復帰を支援している * 福祉施設等で中学生の職業体験等を受け入れている 	<ul style="list-style-type: none"> 就業環境の充実に向けた取り組みの推進 	<ul style="list-style-type: none"> 福祉人材確保の取り組みの充実 	

6. 地域福祉活動への支援の充実

計画項目	活動や事業の実施状況と成果（*：委員の取り組み）	今後の取り組み課題	第三次計画での検討事項	
(14) 地域の資源を活かした地域福祉活動への支援の推進	①地域の資源を活かした活動拠点の充実 [35]	・まちかど福祉相談所等、校区福祉委員会活動を継続的に行う施設の確保を図っている	・公共施設や民家等の活用による、地域福祉活動に常時使用できる場所の確保 ・身近なところで利用できる拠点の確保	・地域の多様な資源（空き家等も含め）を活かした拠点の確保
	②地域福祉活動を支援する財源の確保 [36]	・共同募金を効果的に実施するため、実施主体を社協に移行した ・市民団体による公益的な活動を支援するよう、公益活動支援公募補助金を交付している *活動団体でも財源の確保に努めている	・補助金や共同募金等の効果的な活用	・公民協働の視点に立った、効果的な財政支援のしくみづくり ・専門的なコミュニティワーク（地域福祉活動支援）体制の充実
	③地域福祉活動に対する専門的な支援（コミュニティワーク）の充実 [37]	・社協が校区担当職員をコミュニティセンターエリアごとに配置し、校区福祉委員会を中心とした活動への支援を行っている ・校区担当職員のスーパーバイザーを専任で配置し、実践力の向上を図っている ・校区担当職員を配置し、地域協働協議会による課題の把握や地域協働の推進を図っている	・校区担当職員のスキルアップと体制の充実	

7. 権利擁護や虐待防止のための取り組みの推進

計画項目	活動や事業の実施状況と成果（*：委員の取り組み）	今後の取り組み課題	第三次計画での検討事項	
(15) みんなで連携してすすめる権利擁護支援の取り組みの推進	①福祉に関する権利擁護を総合的にすすめる「(仮称)権利擁護支援センター」の設置[38]			・権利擁護システムの構築と支援の担い手の充実
	②日常生活自立支援事業や成年後見制度による支援の推進 [39]	・成年後見制度利用を促進するため、市長申立や費用助成による支援を行っている ・判断能力が不十分な人のサービス利用や金銭管理を支援する「日常生活自立支援事業」の支援員を増員し、待機期間の短縮に努めている	・成年後見制度の周知と利用支援の充実 ・ニーズの増加をふまえた日常生活自立支援事業の実施体制の充実 ・身内がない人の死後対応などの明確化	・保証人問題等への取り組みの検討 ・虐待や差別をなくす取り組みの充実
	③虐待防止や権利擁護に関するネットワークと具体的な対応の充実 [40]	・高齢者、障害者、児童に対する虐待の相談や通告の窓口を設置して対応するとともに、防止や早期発見に向けた取り組みを行っている ・高齢者虐待防止ネットワーク会議や要保護児童対策地域協議会を設置し、関係機関等と連携した取り組みをすすめている *学校の福祉教育で、平和の大切さやいじめ防止を伝える活動をしている	・相談・通告件数の増加に対応した体制の充実やスキルアップ ・問題解決に向けた適切な対応や、防止のための養護者等への支援の充実	

8. ユニバーサルデザインのまちづくりの推進

計画項目	活動や事業の実施状況と成果（*：委員の取り組み）	今後の取り組み課題	第三次計画での検討事項	
(16) だれもが生活しやすい地域の環境づくり	①都市施設や建築物のバリアフリー化の推進 [41]	・府の福祉のまちづくり条例に基づき、民間建築物の事前協議を実施している ・交通バリアフリー基本構想に基づく整備や、歩道への点字ブロックの敷設、公園のバリアフリー化などを推進している *当事者団体で整備を促進する取り組みを行っている	・民間建築物に対する指導の強化 ・継続的な整備の推進	・効果的なバリアフリー化と安全な生活環境の整備の推進 ・移動に関する支援や、生活の利便性の確保への支援の充実
	②市民の理解やマナーを高める取り組みの推進 [42]	・道路への物品の放置への指導を行っている ・学校や地域で交通安全教室を開催している	・自動車や自転車マナーの向上	
	③日常生活圏域に配慮したまちづくりの推進 [43]	・自治会等に車両を貸与し、買い物等のための外出が困難な人を支援する事業を実施している	・交通事故防止のための学習や啓発の推進	
	④公共交通や移動を支援するサービスの充実 [44]	・高齢者等のバス利用の利便性を高めるように、路線バスの再編を行うとともに、事業者によるバスロケーションシステムの導入を支援した ・高齢者のバスカード購入への補助を実施する ・高齢者・障害者の移動を支援するサービスを、ボランティアの協力を得て実施している	・移動を支援する活動の推進と担い手の確保	

9. 健康と生きがいづくりの推進

計画項目	活動や事業の実施状況と成果（*：委員の取り組み）	今後の取り組み課題	第三次計画での検討事項	
(17) 市民一人ひとりの主体的な健康づくりの推進	①主体的な健康づくりの推進 [45]	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくりプログラムやワガヤネヤガワ健康ポイント事業を活用し、主体的な健康づくりの取り組みを推進している 国保加入者への特定健診、特定健康指導や、重症化予防の取り組みを推進している 各種スポーツイベントを通じて、健康の保持・増進を推進している 地域のサロン等でまちの保健室に取り組んでいる *地域組織、老人クラブや有志のグループ等で健康づくりの活動に取り組んでいる *介護予防教室を地域で実施している 	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくりへの、より多くの人の参加の促進 特定健診、特定保健指導の受診率の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ライフステージに応じた健康づくりと介護予防の推進
	②こころの健康づくりの推進 [46]	<ul style="list-style-type: none"> うつ病の早期発見のためのこころの体温計や自殺予防の啓発、ゲートキーパーの養成などを実施している 		
	③地域に密着した医療体制づくりの推進 [47]	<ul style="list-style-type: none"> 休日診療と障害者歯科診療を、医師会、歯科医師会、薬剤師会や医療機関の協力を得て実施している 	<ul style="list-style-type: none"> 休日診療等の体制の確保 	
(18) だれもが生きがいをもって暮らしていくための参加の場づくり	①社会参加や就労に対する支援の充実 [48]	<ul style="list-style-type: none"> 地域就労支援センターで就労困難者への相談を実施するとともに、出前ハローワークを実施した 生活困窮者自立支援としての就労準備支援を実施する 生涯学習の講座・イベントやサークル等の情報を提供している *中間就労の取り組みがNPOで行われている 	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりに応じた社会参加や就労支援の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な生きがいづくりや就労への支援の充実
	②まちづくりにおける参加と協働の推進 [49]	<ul style="list-style-type: none"> みんなのまち基本条例に基づき、市民の主体的な参加と協働によるまちづくりを推進している 		

10. 地域福祉をみんなですすめるしくみづくり

計画項目	活動や事業の実施状況と成果（*：委員の取り組み）	今後の取り組み課題	第三次計画での検討事項	
(19) 地域福祉計画を着実に推進するしくみづくり	①「(仮称)地域福祉計画推進評価委員会」を中心とする計画推進のしくみづくり [50]	<ul style="list-style-type: none"> 「地域福祉計画推進委員会」を設置し、計画の進捗管理や意見交換を行っている 市・社協の事業の実施状況を毎年集約するとともに、“民”の取り組みとして推進委員会委員の活動等も集約した 	<ul style="list-style-type: none"> 計画の推進にともなう成果や課題の抽出と対応 	<ul style="list-style-type: none"> 個別計画や地域福祉活動計画と連動したPDCCIのしくみづくり
	②分野別計画との一体的な推進 [51]	<ul style="list-style-type: none"> 市（保健福祉部）と社協で地域福祉計画連絡会議を開催し、計画推進における情報共有を行った 		
	③各々の主体の取り組みをすすめるための検討や協議の推進 [52]			
	④広域的な取り組みの推進 [53]			
(20) 地域福祉をみんなですすめる協働と連携の場（プラットフォーム）の充実	①社会福祉協議会や校区福祉委員会の「地域福祉のプラットフォーム（みんなが集まる場）」としての機能の充実 [54]	<ul style="list-style-type: none"> 社協の組織構成会員を対象として、連携に関する研修会を開催した 	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな地域福祉課題に応じて、分野を越えて“みんなが集まり話しあう場”づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な主体の参加による地域福祉のプラットフォームの拡充 地域協働協議会と連携した小地域福祉推進のしくみづくり
	②多様な協議と協働の場づくり [55]			
	③「(仮称)地域協働協議会」と連動した取り組みの推進 [56]	<ul style="list-style-type: none"> 地域協働協議会の推進に関する調整を行った 		